

この説明文書は服用前に必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

鎮咳去痰薬 第②類医薬品

アナロンせき止めシロップ

せきは、のどや気管支の病気にもなっておこります。せきが長く続きますと肺や心臓に負担がかかり、体力も消耗しますので早期に手当てをすることが必要です。アナロンせき止めシロップは、不快な症状であるせきやたんに効果のある成分を配合した飲みやすい液状（シロップ）のせき止め薬です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

1. 過量服用・長期連用しないこと
（倦怠感や虚脱感等があらわれることがある。）
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の鎮咳去痰薬、かぜ薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬）、鎮静薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと
（眠気があらわれることがある。）
4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 高齢者。
 - (4) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
 - (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - (6) 次の症状のある人。
高熱、排尿困難
 - (7) 次の診断を受けた人。
心臓病、高血圧、糖尿病、緑内障、甲状腺機能障害
2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること
 - (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関 係 部 位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
そ の 他	排尿困難

- (2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合
3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること
便秘、口のかわき

効 能

せき、たん

用法・用量

年 齢	1 回 量	1 日 服 用 回 数
成人(15才以上)	10 mL	1日3回食後および必要な場合には就寝前に服用して下さい。また、約4時間の間隔をいただければ1日6回まで服用できます。 (添付の目盛付コップではかり服用して下さい。)
11才～14才	6 mL	
8才～10才	5 mL	
5才～7才	3 mL	
3才～4才	2.5 mL	
1才～2才	2 mL	
3ヵ月～11ヵ月	1 mL	
3ヵ月未満	服用しないで下さい。	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守して下さい。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
- (3) 2才未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむをえない場合にのみ服用させて下さい。
- (4) 本剤は生薬エキスを含有していますので、まれに沈んで生じることがありますが効果には影響ありません。よく振ってから服用して下さい。

成分・分量

成 分 名	分量 (60mL中)	作 用
リン酸ジヒドロコデイン	30mg	せき中枢に作用して、せきをしずめます。
dl-塩酸 メチルエフェドリン	75mg	気管支を拡張して、せきをやわらげ、 たんの排出を助けます。
グアイフェネシン	180mg	気道粘膜の分泌を促進して、粘稠な たんをうすめて出しやすくします。
無水カフェイン	60mg	眠気を防ぎます。
マレイン酸 クロルフェニラミン	12mg	抗ヒスタミン剤。アレルギー性のせ きに効果があります。
キキョウ流エキス	0.6mL (キキョウ600mgに相当)	サポニン系の去痰生薬です。気道の分 泌物を増加させるとともに、繊毛運動 を活発にしていたんの排泄を助けます。

添加物：白糖、エタノール、クエン酸、安息香酸Na、パラベン、カラメル、香料、グリセリン、バニリン、エチルバニリン、プロピレングリコール

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 服用後は、ビンのかたまりをよくしめて下さい。しめ方が悪いと内容液がもれたり、汚染したりすることがありますので注意して下さい。
- (5) 添付の目盛付コップはご使用のつど、水洗いなどして常に清潔に保管して下さい。
- (6) 使用期限をすぎた製品は服用しないで下さい。



製品のお問い合わせ先

小林薬品工業株式会社 お客様相談室
電話 058(278)3933
受付時間 10時から16時まで(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
☎ 0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元

小林薬品工業株式会社

岐阜県岐阜市中鶯1丁目139番地
本社所在地 東京都中央区日本橋箱崎町40番6号